

オルビス、“未来への前向きな気持ちを広げて欲しい”との願いを込めて

東北の中高生に洗顔教室を実施

認定 NPO 法人カタリバの運営するコラボ・スクール女川向学館で開催

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社（本社：東京都品川区、社長：小林琢磨）は、認定 NPO 法人カタリバ（以下カタリバ）が運営する被災地の放課後学校「コラボ・スクール」女川向学館にて、洗顔をはじめとした正しいスキンケアの方法を学ぶ「Share the Beauty モコモコ泡洗顔体験レッスン」を11月30日に開催し、地元の中高生や関係者17名が参加しました。



オルビスは CSR 活動の一つとして、正しい知識に基づいたスキンケア方法の啓発活動に取り組んでおり、美しい肌や知識といった生涯にわたる財産を手に入れて欲しいと考えています。また、体験レッスンを通して得た知識や感動、化粧の力による前向きな気持ちを周囲と分かち合い、スキンケアを自分自身のためだけではなく互いを高め合うコミュニケーションツールとして活用してもらうことも目指しています。当日は、ニキビ用スキンケア「クリアシリーズ」を使いながら、きめ細やかな泡を作る方法や、スキンケアの重要性についてアドバイスを行いました。参加者からは「今まで洗顔に興味なかったが、今日の講座で興味をもつことができました」「今夜早速お母さんに教えてあげたい」といった声が寄せられました。

オルビスの CSR 活動について

オルビスは1984年の創業当時より、環境へ配慮した簡易包装や詰め替え用商品の販売の他、手付かずの森林を整備し里山として再生する環境活動、東日本大震災をきっかけとした被災地復興支援など、様々な活動を行ってきました。こうした取り組みを今後も継続・進化させるため、今年1月に社内横断型組織「ソーシャルアクションチーム」を立ち上げました。CSR活動を「企業価値向上のための中長期的な投資」と位置付け、地球・社会課題の解決や、社員の育成・教育につながる活動を企画し、今後も積極的に取り組みます。

認定 NPO 法人カタリバについて

認定 NPO 法人カタリバは、どんな環境に育っても「未来は創り出せる」と信じられる社会を目指し、2001年に設立した教育 NPO です。高校生へのキャリア学習プログラム「カタリ場」や、被災地の放課後学校「コラボ・スクール」の他、社会課題の変化に伴い、中高生の秘密基地「b-lab」、高校生が地域の課題に取り組む「マイプロジェクト」、教育から地域の魅力化に取り組む「おんせんキャンパス」、困難を抱える子どもたちに学びと居場所を提供する「アダチベース」といった事業を展開。一貫して「ナナメの人間関係」と「本音の対話」を軸としながら、予測できない未来の様々な困難を乗り越える力となる「内発性溢れる学びの意欲」を育むことを目的とした教育活動に力を入れています。